

令和元年度宮城県教職員育成協議会 令和2年2月6日（木曜日）開催

会議の概要

■ 議事

- 令和2年度教職員研修計画について
- 令和3年度教員採用候補者選考について
- 出身校等における学校インターンシップについて
- 養成・採用段階における人材育成の現状と課題について

■ 概要

- 令和2年度教職員研修計画について
 - ・ 研修計画の最終案については、概ね異議等はない。
 - ・ 育成指標を踏まえた研修内容の精選と重点化という観点で、内容のバランスや重点化すべき事項等を精査している。
なお、今後は、指定校や教育研究会との重複部分の整理についても検討していく。
 - ・ 初任者研修や新任校長研修などにおいて、「防災」に関する内容を充実させる。
新任校長を対象に、大川小学校等を訪問する被災地訪問型の研修会を開催する。
今後防災体制の再構築に向け、教育庁全体で取り組んでいく必要がある。
 - ・ 大学との連携については、従来からの6大学に加え、令和2年度から新たに尚綱学院大学と連携した研修を実施する。
 - ・ 本県の未来を担う子供たちを育てる教員を教育界全体で育成するという姿勢を今後も意識し、大学との連携協力による研修の充実を図る。
- 令和3年度教員採用候補者選考について
 - ・ 第1次選考において、一般的な教養や知識及び専門的な知識・能力を評価するとともに、第2次選考では、指標で示す新規採用時に求められる資質能力を評価の観点として実施する。
 - ・ 令和3年度の教員採用選考における変更点については、特に志願者の一層の拡大とその裾野として常勤講師となる人材の確保をねらいとして、人物重視の方針の下見直しを行う。
 - ・ 第2次選考における人物の評価について、実際にどういう観点で評価するのかについて、関係機関等にどこまで情報提供できるのかを含めて検討する。
- 出身校等における学校インターンシップについて
 - ・ 従来宮城教育大学と連携して実施していたものを、今年度から新たに、他の大学にも参加していただき、4大学から128名で実施した。
 - ・ 今後は、このインターンシップとは別に行われている、大学での必修によるインターンシップとの類似点や相違点を整理することにより、さらなる充実を目指す。
- 養成・採用段階における人材育成の現状と課題について
 - ・ 養成・採用・研修の各段階を通じ、大学など関係機関とさらなる充実を図る。
 - ・ 採用段階における複数免許を有する者への加点制度や大学推薦制度など、今すぐ実施することが難しいものもあるが、今後も引き続き検討していく。